



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



## 第5回例会 2021.10.13 (水)

■出席率 会員70名中53名出席75.71% 修正58 82.86%  
メイクアップ5名

### ◆会長挨拶 一條 浩孝 会長



先週はガバナー補佐がいらっしゃいましたので、今日の例会が久しぶりの通常例会となります。今日から会員スピーチも再開しますが、今年度の例会運営では会員スピーチを最も充実させたいと考えておりました。二カ月も空いてしまいましたので、その意義を繰り返しになりますが、今一度お話をさせていただきたいと思います。

所信表明の時にもご紹介したのですが、ロータリーの基本理念のなかに「ロータリークラブとはこういうことを目指している人々の集まりです」というくだりがあります。その目指す内容とは四つありました。いずれも奉仕の理念に関わるのですが、最初の二つだけ内容を分かりやすくご紹介します



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



- ① 奉仕の理念を学ぶこと
- ② 奉仕の理念の実際例を示すこと

となっております。つまり私たちは奉仕の理念を発表し、学ぶことを目指す人々である、ということになります。①の奉仕の理念を学ぶこと、これはスピーチを聞くことだと思います。そして②の実際例を示すこと、とはスピーチをすることだと思います。例会において会員スピーチが最も重要だとする理由はそこにあるのではないかと考えています。私としては今後もそのような例会となるよう努めて参りたいと考えております。

今日の会員スピーチは宍戸清和さんと海老根潤さんです。お二人は会員スピーチの担当が決まってから例会中止もありまして大変長くお待ちいただいております。お二人のスピーチを楽しみにしておりましたので、よろしくお願いいたします。

最後に先週の会長挨拶でも申し上げましたが、この例会後に行われる理事会において正式に会長ノミニ一、第53代会長が承認される運びとなっております。会長職は会員皆さんのご支援がなければ到底全うすることが出来ません。会員の皆様には、どなたになろうとも引き続きあたたかいご支援をお願いいたします。

#### ◆新入会員入会

新会員が入会しました。

宮城 貴志さん (株)近畿日本ツーリスト東北 福島支店 支店長 (旅行代理業)  
所属：青少年奉仕委員会

皆さんよろしくお願いいたします。





奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



## ◆会員増強功績クラブ・分区表彰

会員増強功績クラブ・分区表彰があり、県北第一分区直前ガバナー補佐廣澤俊樹会員が表彰されました。



## ◆ロータリーの友読みどころ ロータリー情報教育委員会黒羽好夫委員

ロータリーの友10月号の読みどころについて講義していただきました。

R I会長の「奉仕は地球で暮らすための使用料である」という信条、多様性・公平さ・インクルージョンへのロータリーのコミットメント、米山記念奨学会の事業内容などについて解説していただきました。

寄付はお金がある人がするものではなく、心がある人がするものですという言葉も紹介していただきました。





奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



## ◆会員スピーチ 1 宍戸清和会員



### ロータリーとの出会い

入会前のボランティア活動歴として、太平寺少年育成会長 3 年、消防団歴 25 年、南部防犯連絡所委員、杉妻小学校 P T A 副会長 2 年、会長 3 年を務めました。

特に印象的なことは P T A 活動で、昭和 63 年度に杉妻小学校の校長先生から、ぜひソニー教育賞に挑戦したいと相談を受け、児童全員 950 人に大根とサツマイモを作らせたいと学校栽培園の設置に取り組みました。栽培園の広さと学校からの距離を鑑み、地権者や協力者を募ったところ、幸いに赤間相会員のゴルフ練習場跡地を借地でき、喜古工務店のご協力で耕し、整地して、近隣の方々も加わり、様々な人の熱心な協力により、栽培園は完成しました。そして児童全員分の収穫にこぎつけました。その結果によりソニー教育資金論文優秀賞を受賞することができました。

また、P T A での悲しい出来事がありました。南福島駅北側の大森踏切手前で小学 1 年生が車の間から向こう側に渡る途中に衝突事故により死亡するということがありました。早急に事故検討委員会を設置して、大森小学校と杉妻小学校で陳情書を作成して、J R ・ 県 ・ 市 ・ 警察に P T A として働きかけた結果、片側のみに設置されていた狭い枕木歩道は、徐々に拡幅改良されました。

入会後の奉仕活動については、入会してまもなく今は亡き富田健三郎さんと馬が合い、青少年奉仕活動から数々の教えを受けました。私が会長の 2004 ・ 2005 年度は、彼は新世代委員会委員長を勤めました。偶然にも杉妻小学校 P T A 活動時代、当時の福島成蹊高校の金子校長先生と知り合いになっていたことから、早速、インターアクトクラブの設立にご尽力いただきました。





奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



私の職業奉仕については、

1. 自然体の奉仕・・・心のなごみ
2. 四つのテスト・・・仕事で行動する原点
3. 地域に還元・・・地域発展のお手伝い

を心掛けております。

また、親睦＝潤滑油を大切に考え、地域住民とのコミュニケーションを大切に、常に声掛け耳を傾ける姿勢を大切にしています。飲みにケーションも好きなので大切にしています。また、最近はじめた、スマホデビューし、有効活用してコミュニケーションを深めています。

ロータリークラブ奉仕として、創立 30 周年時にクラブ幹事と福島 21RC 設立幹事、第 34 代会長を務め、創立 40 周年の大橋廣治ガバナー年度に地区幹事を務めました。地区幹事を引き受けた年は、1 年間自分の仕事は休業状態になりましたが、お客さんは、事情を理解していただき 1 年間待っていただきました。本当に感謝いたしております。

そのおかげで、奉仕の華が咲きました。東日本大震災がもたらしたクラブ奉仕のお手伝いから、多くの国々、多くの地区からの支援の窓口ができました。東京麹町 RC との姉妹クラブ締結のお手伝いもすることができました。ホノルルサンライズ RC とも友好関係が構築できました。それにより、ロータリー活動の奥行きが奉仕であることを体感できました。

## ◆会員スピーチ 2 海老根潤会員

私のお仕事について

本日は、スピーチのお時間をいただき誠に有難うございます。

私共の会社は福祉用具の専門店として今から 34 年前の昭和 62 年に福田順一が創業いたしました。(私は 22 年前に自動車販売の会社からこのハッピーケアに転職いたしました。)





奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



創業以来 34 年間専門店として「福祉用具」を中心に老人福祉施設などで使われる医療機器や家具・家電などの備品にいたるまで様々な商品を提供しております。

本日は会社についてではなく私が仕事で取り扱っている「福祉用具」についてお話ししようと思います。

「福祉用具」とは何なのか？「福祉用具法」という法律を根拠としています。それまでは「介護用品・リハビリ機器・補装具…」などと呼ばれていた物を総称し定義されました。

福祉用具法は（1993 年 平成 5 年 5/6 成立 10/1 施行）です。

会社は昭和 62 年創業ですから「福祉用具」という名称がなかった頃から商品供給をしていた事になります。「名称がなかった」つまり「社会での認知度が極めて低かった」という事で、その中で事業を展開するのは大変な苦労があったと思います。

（私の入社した当時でも、会社のワープロで「介護」と打っても変換できませんでした）

福祉用具法 第一章第 2 条では

- ・「福祉用具」とは、心身の機能が低下し日常生活を営むのに支障のある老人又は心身障害者の日常生活上の便宜を図るための用具及びこれらの者の機能訓練のための用具並びに補装具をいう。

と定義されています。

又、2000 年 平成 12 年 4 月施行の介護保険制度では制度内での福祉用具の範囲が 7 項目示され、その第 1 番目に

- ・「要介護者などの自立促進又は介助者の負担軽減を図るもの」とあります。

又、介護保険制度でのサービスとして福祉用具貸与（レンタル）の事業については、

- ・「要介護状態となった場合においても、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえた適切な福祉用具の選定の援助、取り付け、調整を行い、福祉用具を貸与することにより、利用者の日常生活上の便宜をはかり、その機能訓練をするとともに、利用者を介護する者の負担の軽減を図るものでなければならない」と規定しています。

長々と読み上げましたが、つまり福祉用具及び福祉用具サービスとは「日常生活での自立を支援し、その事で生活の質の向上を図るもの」であると言えます。

ただ単に生活に便利な「道具」ではなく、利用される方が生活する上で、例えば「以前のように自宅のお風呂に入りたい」「外へ散歩に出かけたい」などの希望の実現を支援するための用具・サービスです。当たり前に出た事を当たり前出来る様に支援するものです。

介護保険制度での福祉用具サービスの現状をお話ししますと、全国で在宅サービスを利用されている人の 62%にあたる 249 万人が福祉用具のレンタルサービスを利用されております。又、財政面でもコストパフォーマンスに優れ、全サービスに占める保険給付額割合は 3% 台に収まります。二十数年前はほぼ認知されていなかった福祉用具が今では在宅介護を支え



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



る重要なサービスになっています。

今般の新型コロナウイルス感染症が拡大する中でも、介護サービスに欠かせない人的サービスが提供しづらい状況や、他者との接触を避けたいとの利用者の希望があった際に、ご自身で又ご家族で出来る様、福祉用具を利用していただくケースも多々ありました。

私の仕事は、利用される方の自己実現のために福祉用具を適切に選定し提供する事です。2040年代まで高齢者人口が増加し、反面労働人口は減少し介護人材不足が進んでいきますが、福祉用具を通して少しでもその不足を補い地域の課題解決へ貢献できればと思っております。

以上。

◆次回例会 第6回 2021.10.20

- ・福島成蹊高校奨学金授与 ・成蹊高校『私の夢』発表
- ・新会員スピーチ1 川島利文会員
- ・新会員スピーチ2 渡邊 勝会員
- ・新会員スピーチ3 半澤一成会員